

秋田DNライティング、LED照明増産 29年に1.5～2倍目指す

2025/07/25 18:25 日本経済新聞電子版 424文字

秋田DNライティング（秋田県潟上市）は発光ダイオード（LED）照明器具の増産に乗り出す。同市内の工場に新棟を増設し、生産能力を2029年までに現在の1.5～2倍に引き上げる。27年末で製造禁止となる蛍光灯の代替需要を取り込み、収益拡大を目指す。

工場の増設投資は総額25億～30億円を見込む。秋田県の企業立地促進助成事業補助金の指定も受けた。既存ラインの再配置やファクトリーオートメーション（FA）導入により生産効率向上と従業員の作業環境改善をはかる。

同社は照明部品の内製化率を高め、ユーザーのニーズに合わせた多品種・少量・短期間での生産を強みとする。そのために不可欠な「人材の採用に注力する」（出口和貴社長）狙いだ。

主要なユーザーは商業施設などで、建築デザインに合わせた形状の照明器具の需要が高まっている。より自然光に近い発色や防水性能などへの要望も強いという。

同社は大日本塗料系のDNライティング（神奈川県伊勢原市）が100%出資する製造子会社。



秋田DNライティングの照明器具製造ライン（秋田県潟上市）

本サービスで提供される記事、写真、図表、見出しその他の情報（以下「情報」）の著作権その他の知的財産権は、その情報提供者に帰属します。
本サービスで提供される情報の無断転載を禁止します。
本サービスは、方法の如何、有償無償を問わず、契約者以外の第三者に利用させることはできません。
Copyrights © 日本経済新聞社 Nikkei Inc. All Rights Reserved.

許諾番号30104743 日本経済新聞社が記事利用を許諾しています。